

# 獨逸の新自動車交通令 (一)

(一九二八年三月一六日公布)

法學士 右田鐵四郎

## 第一章 自動車通則

### 一 通則

#### 第一條

本令ノ用語ハ左ノ例ニ依ル

- 一 自動車トハ軌條ニ據ラスシテ機械力ニ依リ運轉スル陸上運送具ヲ謂フ
- 二 自動自轉車トハ三箇以下ノ車輪ニ依リ走行シ運轉整備自重三百五十斤ヲ超エサル動力車ヲ謂フ。附隨車、側車又ハ前車ハ種類ノ定ニ於テ斟酌セララルコトナシ
- 三 乗合自動車トハ座席(運轉車席ヲ含ム)八箇以上ヲ有スル客用自動車ヲ謂フ
- 四 道路ニハ廣場、橋梁及隧道ヲ含ム
- 五 道路ヲ使用スルモノトハ軌條車、一般車輛、自動車(自動自轉車ヲ含ム)自轉車乘、騎馬者、行進セル軍隊、行列並犬ヲ除キ追ヒ又ハ牽カレタル動物ヲ謂フ
- 六 闇黒トハ四月乃至十月ニ在リテハ日没後一時間ヨリ

日出前一時間ニ至ル間其他ノ月ニ在リテハ日没後三十分ヨリ日出前三十分ニ至ル間ヲ謂フ

七 空氣輪トハ中袋内ノ空氣カ荷重ナキ場合ニ在リテモ過重壓ヲ受クル外輪ヲ謂フ

## 第二條

(一) 自動車ノ交通ニ關シテハ將來又ハ法第六條第三項ニ基キ各邦最高主務官廳カ之ニ異ル規定ヲ定メサル限り一般ニ公共用道路ニ於ケル車輛又ハ自轉車ノ交通ヲ規律スル規定ヲ準用ス

(二) 公共ノ運輸ニ供スル自動車竝ニ其運轉手ニ關シテハ本令ノ規定ト共ニ公共ノ運輸ニ供スル車輛ノ運轉ニ關スル特別規定ヲ適用ス

(三) 鋪裝車道ニ竝ヒテ鋪裝セサル車道(夏道)在ルトキハ各車道ハ第二十一條乃至第二十三條ノ適用ニ關シテハ——右側及左側ノ判斷——獨立ノ道路ト看做ス。避讓及追越ニ際シ必要アルトキハ夏道ヨリ鋪道ニ轉シ又ハ鋪道ヨリ夏道ニ移ルコトヲ得

(四) 本令ノ規定ハ自動機、無限軌道車、市街蒸汽機關車、轉壓機更ニ運轉整備重積載若ハ未積載狀態ニ於テ九噸ヲ超エ又ハ車軸三箇ヲ有スルモノニ在リテハ十五噸ヲ超ユル自動車並農工業ノ用ニ供スル自動工具(例之蒸汽鋤、動力鋤、動力鍬)ニ付適用ナシ

## 自動車

### イ 構造、装置及載貨

## 第三條

(一) 自動車ハ交通上安全ニシテ且特ニ發火及爆發ノ虞無ク騒音、臭氣、蒸氣、又ハ惡臭ニ依ル旅客ノ苦痛及車輛ノ顛覆ヲ排除スヘキ構造設備ヲ裝フコトヲ要ス。燃燒機關ニ在リテハ燃燒瓦斯及蒸氣機關ニ在リテハ蒸氣ノ排出ハ充分ナル排氣裝置ヲ施シテ爲スヘシ。排氣管ノ口孔ハ上方ニ向クヘカラス。排氣辨ヲ裝置シ及其他ノ方法ニ依リ排氣裝置ノ效果ヲ減少シ又ハ除去スルコトヲ得ス

(二) 運轉整備自重三噸以下ノ自動車及運轉整備重積

載又ハ未積載狀態ニ於テ九噸ヲ超エ車軸三箇ヲ有スル自動車ハ空氣輪ヲ裝置スヘシ。其他ノ自動車ハ凡テ空氣輪又ハ彈力性充實護謨輪ヲ備フヘシ。外輪ハ車道ヲ損傷スヘキ尖端ヲ有スヘカラス

#### 第四條

(一) 自動車ハ凡テ左ノ要件ヲ具備スルヲ要ス

一 安全且速ニ避ケ得ル確實ナル變向機、短ク廻轉シ得ル爲變向ニ使用スル車輛ハ兩側ニ可及的廣ク擴カリ得ルヲ要ス

二 其機能ニ於テ相互ニ獨立セル二個ノ制動機、各制動機ハ一箇ノ車軸ノ車輪又ハ數箇ノ車軸ノ車輪ニ交又シ同時ニ作用スルコトヲ要ス。制動機ノ内一箇ハ固定セシムヘシ鍵鎖式傳導裝置ヲ有スル自動車ニ在リテハ制動機ハ直接車輪又ハ車輛ニ固着セル部分ニ作用セシムヘシ。各制動機ハ車輪ヲ最短距離ニ於テ停止セシムヘキ構造タルコトヲ要ス

三 坂路ヲ登ルニ際シ不慮ノ逆行ヲ防止スル一箇ノ確實

ナル裝置。但シ制動機ノ中一カ其條件ヲ滿ササル場合ニ限ル

四 車輛ニハ警告ノ用ニ供スル音響器ヲ固着セシムヘシ

音響器カ數音ヲ有スルトキハ各種ノ音ハ同時ニ偕調ヲ爲スヲ要ス。雜音ナキ朗ナル音又ハ偕音カ金屬辨、板

(薄膜) 又ハ其他ノ部分ノ振動ヨリ生スルトキハ其音響器ハ規定ニ適セルモノト看做ス。凡テノ車輛ニハ電動機ノ休止セル場合ニ在リテモ警告ヲ與ヘ得ル一箇以上ノ音響器ヲ具備スヘシ

五 車輛ノ兩側同高ノ位置ニ無色又ハ淡黃色ノ硝子ヲ有スル明キ燈火二箇以上ヲ取付ケ暗クナリテ後及濃霧ニ際シ車輛ノ前方二十米以上ヲ取付ケ見透シ得ル様車道ニ光線ヲ投射スヘシ燈火ノ外縁ト車輛ノ外縁間ノ距離ハ四十糎ヲ超ユルコトヲ得ス光力過度ニ強キモノヲ使用スルコトヲ得ス

六 操縦ノ心得ナキ者ノ運轉ヲ妨グル裝置

(二) 自動自轉車ニ付テハ制動機ノ固定(第二號)不慮

ノ逆行ヲ防止スル装置（第三號）及心得ナキ者ニ依ル運轉ヲ防止スル装置（第六號）ニ關スル規定ハ適用ナシ。

無色又ハ淡黃色ノ硝子ヲ有スル明キ燈火（第五號）一箇ヲ備フレハ足ル。但シ左側ニ側車ヲ有スル自動自轉車ニ在リテハ之限ニ在ラス側車ノ車輪ニ作用スル制動機（第二號）ハ之ヲ必要トセス

（三） 自重三百五十斤以上ノ凡テノ自動車ハ運轉手席ヨリ原動機ニ依リ逆行シ得ル様装置スヘシ

（四） 各種原動機及第一號乃至第三號ニ掲クル装置ヲ利用スル把手ハ運轉手カ其ノ眼ヲ進路ヨリ轉スルコトナク容易ニ且暗中ニ在リテモ取り違フ虞ナク取扱ヒ得ヘキ様装置スヘシ

（五） 凡テノ自動車ハ車臺ノ賭易キ箇所ニ札ヲ取付ケ車臺製造所、車臺ノ製造番號、各種原動機ノ馬力數（自動自轉車乗合自動車ヲ除ク客用自動車及自重二噸半以下ノ貨物自動車ニ在リテハ車輛カ燃燒機關ニヨリ運轉セラルル場合ニ於テハ機關ノ行程容積）及自動車ノ運轉整備自

重ヲ記載スヘシ。燃燒機關ノ場合ニ在リテハ原動機ノ製造番號ヲ氣笛ノ上ニ掲クヘシ總重量（載貨ヲ含ム）五噸以上ノ自動車ニ在リテハ札ノ上ニ尙許容荷重積載狀態ニ於ケル軸荷重輪帶幅一糧——護謨輪ノ底面——ニ及ホス輪荷重ヲモ記載スヘシ

（六） 積載狀態ニ在ル自動車ニ於テハ一ノ車軸ニ及ボス荷重ハ六噸車軸三箇ヲ有スルモノニ在リテハ五噸、輪帶幅一糧ニ及ボス荷重ハ百五十斤ヲ超ユルコトヲ得ス

（七） 人家稠密セル箇所外ニ於テ警告ノ用ニ供スヘク定メタル氣管（第十九條第三項）ハ壓縮セラレタル燃燒瓦斯カ氣笛又ハ排氣管ヨリ氣管ヲ通シ逸出シ同音程ノ笛音ヲ生スルトキハ規定ニ適セルモノト看做ス

（八） 總重量（許容荷重ヲ含ム）三噸半以上ノ貨物自動車ニハ左側ニ一箇ノ鏡ヲ取付ケ運轉手ヲシテ逆行スル道路ヲ觀視シ得シムヘシ

（九） 後尾燈ヲ使用スル際又ハ停車若ハ方向變換ノ意思ヲ表示スル爲ノ設備ヲ使用スル際ニハ黃赤色ノ燈火ノミ

ヲ使用スルコトヲ得

(十) 載貨ニ依リテ人又ハ物ヲ傷害シ若ハ汚損シ車輛ノ騒音若ハ顛覆ヲ惹起セサル様分割、保持又ハ固定セラルルコトヲ要ス。荷物カ車輛ノ後尾ヨリ突出シテ載マレタルトキハ麥藁布片等ヲ以テ特ニ識別シ得ル様爲スヘシ

ロ 車輛許可ノ申請

### 第五條

(一) 自動車ヲ運輸ニ供セムトスルトキハ所有者ハ其住所ヲ管轄スル上級行政官廳ニ書面ニ依リ車輛ノ許可ヲ申請スヘシ。申請書ニハ左ノ各號ヲ具備スヘシ

一 所有者ノ名職業(營業)及住所

二 車臺ノ製作所並ニ車臺ノ工場番號

三 車輛ノ種類(自動自轉車、客用自動車、乗合自動車

貨物自動車、電氣荷車、荷物室ナキ牽引車)上部構造

ヲ變更シ得ル場合ハ右ニ關スル詳細ナル記述

四 原動機ノ種類(燃燒機關、蒸氣機關、電動機)

五 各種原動機ノ馬力數(自動自轉車、乗合自動車ヲ除

キ客用車及二噸半以下ノ貨物自動車ニシテ燃燒機關ニ依リ運轉スルモノニ在リテハ機關ノ行程容積

六 車輛ノ運轉整備自重

七 許容積載量(丘又ハ運轉手ヲ含ム人員ニ於テ)

八 總重量(載貨ヲ含ム)五噸以上ノ自動車ニ在リテハ

積載狀態ニ於ケル車軸荷重及輪帶幅一種ニ及ボス輪荷重

九 燃燒機關ニ依リ運轉スル乗合自動車及同種ノ原動機

ヲ有スル貨物車ニ在リテハ各車輪カ空氣輪ヲ具備スルヤ否ヤノ記載

十 所有者カ商業又ハ農業ノ職業組合ニ屬スルトキハ其

組合ノ名稱

(二) 申請書ニハ上級行政官廳ノ認定セル鑑定人ノ意見書ヲ附スヘシ。該意見書ハ第一項第三號乃至第九號ノ記載ノ正確ナル事並ニ車輛ハ本令所定ノ要件ヲ具備セル事ヲ證明スルモノトス。意見書ハ申請者其負擔ニ於テ之ヲ求ムヘシ

(三) 上級行政官廳ハ自動車ノ製作ヲ業トシ且其本店ヲ官廳ノ管内ニ有スル商業登記簿ニ登録セラレタル信用アル商會ノ書面ニ依ル申請ニ基キ商會ノ負擔ニ於テ車輛検査(車型検査)ヲ行ヒタル後取消ヲ留保シテ該商會ノ製作ニ係ル一定種類ノ自動車ハ本令ノ要件ニ適合セル旨ノ證明(型式證明)ヲ該商會ニ附與スルコトヲ得。外國製ノ車輛ニ付テハ前段ノ證明ハ自動車ノ販賣ヲ業トシ且其本店ヲ官廳ノ管内ニ有スル商業登記簿ニ登録サレタル信用アル商會ニ該商會カ獨逸國內ニ於ケル當該種類ノ自動車販賣ノ唯一ノ權利者タルコトノ證明アリタルトキハ書面ニ依ル申請ニ基キ附與スルコトヲ得。型式證明ハ全國ニ對シ效力ヲ有ス。該種類ノ自動車(第一段及第二段)ニ對シテハ商會ハ場合ニ依リ附屬書ヲ有スル型式證明ノ公證謄本ニ對シ進行番號ヲ附シテ補充證明ヲ發行スルコトヲ得。補充證明ハ第一項第三號乃至第九號ニ規定セル記載ノ正確ナルコトヲ證明スルコトヲ要ス。該商會證明(補充證明附型式證明ノ謄本)ハ第六條第三項第二段及

第三十五條第一項ノ場合ヲ除キ凡テノ場合ニ公認鑑定人ノ意見書ニ代ル。但シ燃燒機關ニ依リ運轉スル乗合自動車、同種ノ原動機ヲ有スル貨物自動車、電氣又ハ蒸氣ヲ以テ運轉セラルル自動車並ニ荷物室ナキ牽引車ニ付テハ官廳ノ重量證又ハ官廳ノ監督ノ下ニ行ハルル重量測定ニ關スル證明ヲ添付スヘシ。商會證明ハ既ニ公共用道路ニ於ケル交通ヲ許可セラレタル車輛ニ對シテハ商會カ更ニ検査ヲ受ケ且其構造ノ規定ニ適セルコトヲ立證セルトキニ於テノミ發行サルルコトヲ得。之事ハ證明中ニ明ニスヘシ。商會證明ニ依リ交通ニ供セラレタル車輛ニ付テハ商會ハ其表示ヲ附シ請求アルトキハ當該官吏ニ差出スコトヲ要ス。證明ハ商會本店——外國製車輛ニ付テハ第二段ニ意味スル總代理店——ノ共同責任ノ下ニ同時ニ登録義務ヲ有スル支店モ亦發行スルコトヲ得。取消サレタル場合(第一段及第二段)ニハ型式證明ハ其效力ヲ失ヒ證明濟ノ凡テノ謄本ト共ニ管轄上級行政官廳ニ返却セラルルコトヲ要ス。謄本カ商會證明ノ用ニ供セラレタルモノニ

非サルトキハ之限ニ在ラス

(四) 第二項及第三項ニ依ル検査ニ對シテハ交通大臣ノ發布スル自動車検査ニ關スル細則ノ規定ヲ適用ス。交通大臣ハ右ニ關シ聯邦參議院ニ遲怠ナク報告スルコトヲ要ス。聯邦參議院カ一月内ニ異議ヲ申出テタルトキハ交通

大臣ハ異議アル規定ヲ廢止スルトコトヲ得ス

(五) 各邦最高主務官廳及國交通大臣ノ同意アルトキハ其構造又ハ裝置カ本令又ハ自動車検査細則ノ規定ニ適セサル自動車ニ付テモ取消シテ留保シテ交通ヲ許可スルコトヲ得

(つゞく)